

家畜の生産性向上にかかる暑熱対策

気象庁の3か月予報(5月19日発表)では、丹後地域を含む西日本日本海側は気温が平年より高く、降水量はほぼ平年並みの見込みです。

今年は梅雨前から気温が高く、暑さの本格化が早いいため、家畜に対しても早めの暑熱対策が必要です。

月別平均気温と降水量(西日本、日本海側)

	6月	7月	8月
平均気温	高い	高い	高い
降水量	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並

- ◆線状降水帯や台風に伴う集中豪雨により、浸水、土砂災害、後の伝染性疾病の発生も想定されます。
- ◆暑熱の被害が出た際には家畜保健衛生所へ直ちにご連絡ください。また、急なお問い合わせ等行う場合もありますので、その際はご協力お願いします。
- ◆具体的な暑熱対策は裏面を参考としてください。

＜家畜の生産性向上にかかる暑熱対策＞

畜舎・鶏舎内の温度上昇等への対応

- ・ 直射日光の遮断、夜間外気の取込
- ・ 西日の遮光
- ・ 屋根、畜舎、吸気口への散水、噴霧
- ・ 家畜への送風、散水
- ・ ビニールカーテン吊り下げ
- ・ 毛刈り（牛）
- ・ 屋根、壁、床への断熱材、断熱塗装
- ・ 換気扇、送風ダクトによる強制換気



畜舎屋根へ石灰塗布することで直射日光の影響が緩和されます



畜舎内の送風と散水を有効に活用すると5度程度温度が下がります

畜舎・鶏舎周りの温度上昇の抑制

- ・ 日陰の整備
- ・ 寒冷紗の設置
- ・ 散水



畜舎周辺の地面の高温化は散水で緩和されます

家畜のコンディションの維持

- ・ 十分な飲水の確保、飼料の変敗防止
- ・ 適正な飼養密度の確保
- ・ 飼料は涼しい時間帯に給与、給与回数を増やす
- ・ 品質の高い粗飼料の給与、ミネラル等の補給（牛）
- ・ ガーリック、ビタミンA、D、Eの利用（豚）
- ・ 重曹、塩化カリウム、ビタミンCの投与（鶏）

（農林水産省資料参考）